



令和3年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>ひとづくりを軸とした持続可能な地域づくりプロジェクト (ひとづくり推進事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p>【益田版カタリ場】 小学生と高校生、中学生と大人による1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。</p> <p>【高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置）】 高校と地域・企業・行政をつなぐコーディネーターを配置し、高校生の学校外での活動づくりを実施した。</p> <p>【JFAこころのプロジェクト「夢の教室」】 日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかについて、オンラインを通じて小学生に伝える授業を実施した。</p> <p>【関係人口の創出（私立高等学校魅力化補助金）】 益田市の私立高校には、約250名の県外生が在籍している。特にこの県外生を対象とした地域活動を実施することで、卒業後も第2のふるさととして益田市と関わり続ける人材（関係人口）の確保へつなげた。具体的には「食」をテーマとしたコンテンツづくりや交流の場の創出を行った。 (益田東高等学校) ・交流及び憩いの場の整備、また、島根の食材を使った料理教室を開催した。 (明誠高等学校) ・益田市出身のデザイナー・地域プロジェクトプランナーと協働し、益田市の食と文化の記録と発信を目的としたSNSを構築した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="512 958 855 1218">  <p>【益田版カタリ場】</p> </div> <div data-bbox="900 958 1206 1218">  <p>【夢の教室】</p> </div> </div>
<p>成果</p>	<p>「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた新成人の割合 目標：85% / 実績：78%</p> <p>益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 目標：250人、80%/ 実績：225人、88.5%</p> <p>「将来、益田に住みたい」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：72.9%</p> <p>益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した若者の延べ人数と満足度 目標：30人、80% / 14人、96%</p> <p>ライフキャリア教育に関わる大人の数 目標：600人 / 実績2,218人</p> <p>ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数 目標：3人 / 実績：7人</p> <p>その他、事業実績（定量的効果。（ ）内は前年度実績）。</p> <p>【益田版カタリ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15（13）小学校、8（8）中学校、4（3）高校で実施 ・対話した延べ人数 1,468人（1,298人） <p>【JAFこころのプロジェクト「夢の教室」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 10（12）校 ・児童数 257（363）名 <p>【関係人口の創出（私立高等学校魅力化補助金）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加者数 459（455）名 ・うち、県外出身者数 225（221）名
<p>今後の事業展開</p>	<p>持続可能な地域づくりのためには持続可能なひとづくりが不可欠である。その実現のためのキーワードの一つは「つながること」であると考えられ、その実践及び拡大に引き続き、取り組む必要がある。</p> <p>また、その手法としては、変化の激しい時代に即し、「まずやってみて、やりながら不具合なところを少しずつ修正する」AAR（Anticipation Action Reflectionの頭文字）サイクルの手法に率先して取り組みたい。</p>